

2026年度

学生募集要項

博士課程後期3年の課程（10月編入学・進学） 経済経営学専攻

| | |
|------------------|------------------------------------|
| 事前審査等 受付期間 | 2026年5月15日（金） ～5月26日（火）16時必着 |
| 出願受付期間 | 2026年7月10日（金）9時 ～7月17日（金）16時 |
| 英語外部試験 スコアの提出 | 2026年7月17日（金）16時 |
| 受験票 ダウンロード | 2026年8月28日（金）以降 （オンライン出願システムより） |
| 入学・進学 試験 | 2026年9月2日（水） |
| 合格発表 | 2026年9月10日（木） |
| 入学・進学 手続期間 | 2026年9月11日（金）～9月17日（木）16時 必着 |
| 入学・進学 | 2026年10月1日 |

注 2027年4月編入学・進学を希望する場合は、募集要項が別にありますので、それに従ってください。

東北大学大学院経済学研究科

経済学研究科のアドミッション・ポリシー

東北大学大学院経済学研究科には二つの専攻があります。経済経営学専攻では、経済・経営への強い関心と、それについての基礎学力を有し、将来これらの分野の研究者として、あるいは高度な専門職業人として活躍することを希望する人を求めます。広い視野と豊かな学識を持ち、国際的水準の独創的な研究を遂行する能力を備え、社会と学問の発展に貢献できることを目指して育成を行います。会計専門職専攻（会計大学院）では、会計に関する基礎学力を有し、将来高度な分析能力を身につけ、国際的な場面で活躍する職業会計人となることを希望する人を求めます。会計分野の学識と実務的な知識を持ち、国際的視野とコミュニケーション能力を備え、高い職業倫理観をもって社会の発展に貢献できることを目指して育成を行います。また、実社会での経験を生かしながら、新たな問題意識をもって経済学や経営学を学びたい、職業会計人としての能力を向上させたい、という希望をもつ社会人を積極的に受け入れます。

（経済経営学専攻・博士課程後期3年の課程）

本課程にはコースの区分はありませんが、後期課程 GPEM プログラムを設置しています。以下の選抜区分がありますが、英語の能力、志望する科目に関する専門知識、研究適性を備えた学生を選抜し、研究能力を重視することは共通です。試験の実施方法は選抜区分により異なりますが、各実施方法で所定の基準に達するのが必要なことは共通です。

編入学・一般選抜

試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。

編入学・社会人特別選抜

研究業績を持つ社会人を対象とします。試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。

進学試験

本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在学中の者を対象とします。試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。

なお、入学前に大学院前期課程水準の専門知識、研究の遂行能力と成果の発信能力、国際的視野と行動力を身につけておくことを希望します。

1 専攻、募集人員及び入試区分

| 専攻 | 募集人員 (4月編入学・ 進学者を含む) | 入試区分 | 対象者 |
|---------------------|----------------------------|--------------|--|
| 経済 経営 学 専攻 | 14名 ^{注1} | 編入学（一般選抜） | |
| | | 編入学（社会人特別選抜） | 出願時に通算して5年以上の在職経験 ^{注2} を有する者 |
| | | 進学 | 本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在学している者で、2026年9月に修士又は修士（専門職）の学位を取得見込みの者 |

注1 上記募集人員には、後期課程 GP EM（Global Program in Economics and Management）プログラムの定員（別途選考）を含みます。

注2 「在職経験」とは、企業、官庁、研究機関等に常勤しているか、自ら事業を営むことを意味します。

2 出願資格

出願できるのは、次の各号のいずれかに該当する者又は2026年9月30日までに該当見込みの者です。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの（以下「外国の大学院の課程を有する教育施設」という。）の当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号参照）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

注1 (7)又は(8)によって出願しようとする場合は、「**3 事前審査等**」により出願前に必ず事前審査申請等を行ってください。

注2 入試区分にかかわらず、「**3 事前審査等**(1)対象者アまたはイ」に該当する方で入学を志願する者は、「**3 事前審査等**」により出願資格の有無を必ず確認してください。

3 事前審査等

「(1) 対象者」記載のア～エのいずれかに該当する者は、出願前に事前審査等が必要です。必要書類を揃えて事前審査等受付期限までに経済学研究科大学院教務係へ提出してください。

(1) 対象者

ア 日本国籍を有しない方で、かつ、日本国の永住許可を得ていない方
イ 国籍にかかわらず外国の大学・大学院等を卒業・修了した（又は卒業・修了見込みである）方

注1 進学志願者は提出不要です。

ウ 「2 出願資格 (7) 又は (8)」によって出願しようとする者

エ 編入学（社会人特別選抜）又は進学志願者で、英語試験の免除を希望する者

出願時に通算して5年以上の在職経験を有しており、かつ以下のいずれかに該当する場合、英語試験を免除することがあります。

- ① 在職期間中に、英語を公用語とする地域で1年以上の実務経験もしくは留学（研修を含む）経験を持つ場合
- ② 外国語講読（英語）もしくはそれに相当する科目を担当したことのある場合

免除の可否は、2026年7月中旬にメールで通知します。

(2) 必要書類等

必要書類、具体的な説明は、経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。
経済学部・経済学研究科トップページ <https://www.econ.tohoku.ac.jp/>

(3) 事前審査等受付期間

2026年5月15日（金）～5月26日（火）16時必着

注2 受付期間内に到着したものに限り受け付けます。

注3 必要書類に不備がある場合には、受け付けません。

4 出願手続

(1) オンライン出願

出願者は、オンライン出願システム The Admissions Office (以降は TAO と表記) を使って、出願期間内に申請手続を行ってください。申請のおおまかな流れは、次のとおりです。

- ① 募集要項の確認・必要書類の取得
 - ・次項の「(2) 申請書類等」をよく確認してください。
- ② 入学検定料の支払い
 - ・本募集要項 6 ページの指示に従い、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります(志願者負担)。
 - ・振込後、ATMの利用明細、インターネットバンキングの振込完了画面等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを、画像データ(jpeg、jpg または png 形式)に変換し、TAO にアップロードしてください。
 - 【注】申請登録、もしくは入学検定料納入の一方だけでは、申請したことになりません。
- ③ TAO 申請登録サイトでの申請登録
 - ・下記 URL から TAO にアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。
<https://admissions-office.net/>
 - ・研究計画書等、提出書類のアップロードも申請登録時に行います。
 - ・登録後は、登録した内容は変更できません。登録するときは、誤りのないように、確認しながら慎重に行ってください。
 - ・一時保存の機能がありますので、確認などに有効に利用してください。

申請手続は、入学検定料の納入(納入期限厳守)を経て、インターネット上で申請情報を登録することで完了します。

入学検定料納入、もしくはインターネット上での申請情報の登録のみだけでは申請手続が完了しませんので、注意してください。

(2) 申請書類等

志願者は次の書類を TAO を通じて提出してください。

所定様式は、募集要項と同じ経済学部・経済学研究科ウェブサイトに掲載されていますので、ダウンロードのうえご使用ください。

経済学部・経済学研究科トップページ <https://www.econ.tohoku.ac.jp/>

| 入試区分 | No. | 書類等 | 摘要 |
|-----------|-----|----------------------|---|
| 各区分に共通の書類 | 1 | 編入学願書・進学願書・履歴書、写真データ | TAO に必要事項を入力し、写真データをアップロードしてください。 【写真データの要件】 <ul style="list-style-type: none"> ・出願前 3 か月以内に撮影した志願者本人のカラー写真 ・眼鏡をかけて受験する者は眼鏡をかけた写真とする ・正面向き、上半身無帽、無背景(背景や柄がないもの) ・縦 4 : 横 3 の比率 ・使用できるデータは jpeg、jpg または png 形式で、100KB～5MB のサイズ ・本人確認に使用するため、写真データに加工を施さないこと |
| | 2 | 研究計画書 | A 4 サイズで、4,000 字程度(英文の場合はダブルスペースで 3,000 ワード程度)で作成し、PDF データに変換のうえ、TAO にアップロードしてください。 |

| | | | |
|----------|----|---|---|
| | 3 | 成績証明書 | 出身大学院又は最終卒業学校等が発行したものの原本（日本語又は英語のもの）を PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。ただし、本研究科出身者は不要です。 |
| | 4 | 修了（見込）証明書 | 出身大学院又は最終卒業学校等が発行したものの原本（日本語又は英語のもの）を PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。本研究科出身者は不要です。 |
| | 5 | 入学検定料 30,000円 <u>30,000円を7月16日（木）までに指定金融機関に支払いの上、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを画像データ（jpeg、jpg またはpng形式）に変換し、TAOにアップロードしてください。</u> | <p>入学検定料は、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用の上、下記により納入してください。</p> <p>金額：30,000円 納入期限：7月16日（木）【納入期限厳守】 銀行：三菱UFJ 銀行 銀行コード：0005 支店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259061 口座名義：国立大学法人東北大学 カナ：ダイトウホクダいがく</p> <p>※ 振込依頼人名は、受験者本人のカナ氏名及び英字氏名を登録してください。 ※ 振込手数料については、受験者本人負担となります。 <u>ただし、進学志願者は納付不要です。</u></p> <p>なお、国費外国人留学生で留学期間の延長手続きを行う場合は納付不要です。在籍する大学等が発行した国費外国人留学生証明書（証明内容を予め大学院教務係へ電話でお問い合わせください。）を PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。</p> <p>また、災害の被災者に対する入学検定料の免除については、経済学部・経済学研究科ウェブサイトを参照してください。 ※ 外国送金不可。 ※ 誤納付の場合は出願期間最終日までに申し出ること。</p> |
| 編入学（一般） | 6 | 修士論文又はこれに相当する論文 | 原則として日本語又は英語によるもの。それ以外の言語による論文は、英訳のうえ、PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。 |
| | 7 | 修士論文又はこれに相当する論文の要旨 | A4サイズで、2,000字程度（英文の場合はダブルスペースで1,500ワード程度）で作成し、PDF データに変換のうえ、TAO にアップロードしてください。 |
| 編入学（社会人） | 8 | 在職証明書 | 5年以上の在職を証明するもの又はこれに代わるもの（いずれも日本語又は英語のもの）を、自営業の場合は、当該事業の登記簿謄本を PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。 |
| | 9 | 所属長の承諾書 | 所定様式。在職のまま入学を希望する場合、在職のまま本研究科で研究することを認める旨を記載した承諾書を PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。（何らかの事情により出願時に提出が困難な場合は、大学院教務係までお問い合わせください。事情により対応が可能な場合があります。） |
| | 10 | 研究業績リスト | 所定様式。PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。（主要業績5点以内） |
| | 11 | 主要研究業績 | 修士論文、論文、著書等日本語又は英語によるもの1点、それ以外の言語による論文は英訳のうえ、PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。 |
| | 12 | 主要研究業績の要旨 | A4サイズで、2,000字程度（英文の場合はダブルスペースで1,500ワード程度）で作成し、PDF データに変換のうえ、TAO にアップロードしてください。 |

| | | | |
|-----|-----|---|--|
| | 1 3 | 社会経験経歴書 | 所定様式。PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。 |
| 進学者 | 1 4 | 【本研究科在学者】 修士論文、リサーチ・ ペーパー、又はプロジェクト報告書 【他研究科在学者】 修士論文又はこれに 相当する論文 | PDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。 ただし、経済経営リサーチコース在学者が出願時と同一の専門科目を志望する場合、もしくは会計専門職専攻在学者がリサーチ・ペーパーの指導を受けたプロジェクト研究担当教員の専門科目を志望する場合は、提出不要です。高度グローバル人材コース在学者は、必ずプロジェクト報告書を提出してください。 |
| | 1 5 | 【本研究科在学者】 修士論文、リサーチ・ ペーパー、又はプロジェクト報告書の要旨 【他研究科在学者】 修士論文又はこれに 相当する論文の要旨 | A 4 サイズで、2,000 字程度（英文の場合はダブルスペースで1,500 ワード程度）で作成し、PDF データに変換のうえ、TAO にアップロードしてください。 |
| 該当者 | 1 6 | 住民票 | 本邦に在留する外国人の方（在留期間が90日を超える者）は、住民票（出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号（マイナンバー）の記載がなく、在留資格が明記されたもの）をPDF データに変換し、TAO にアップロードしてください。 |

(3) 出願期間

2026年 7月10日（金）9時～ 7月17日（金）16時

※この期間内に、TAOの出願フォームに出願書類等をアップロードして下さい。
出願フォームには、この期間しかアクセスできません。

- 注1 出願書類等（TAO 登録内容含む）に不備がある場合には、受け付けません。
注2 出願手続後は、出願取下げ、書類等（TAO 登録内容含む）の変更及び入学検定料の払い戻しはできません。
注3 **TAO にアップロードした証明書は、入学手続時に原本の提出が必要です。**入学手続時に原本確認が行えなかった場合は、入学を許可しないことがあります。

5 受験票について

受験票は、2026年8月28日（金）以降、TAO でダウンロードし、印刷のうえ、試験当日、持参してください。

※A 4 白色の用紙に、カラーで印刷してください。

6 選抜方法

6-1. 編入学（一般選抜）、編入学（社会人特別選抜）

- (1) 一般選抜は、論文審査、英語試験、口述試験、研究計画書及び成績証明書等を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜は、論文審査、英語試験、口述試験、研究計画書、社会経験経歴書、成績証明書等を総合して判定します。

| 入試区分 | 論文審査 | 英語試験 | 口述試験 | 備考 |
|-----------------|------|------|------|----|
| 一般選抜 社会人特別選抜 | ○ | ○ | ○ | |

*試験について

論文審査 入学志願者から提出された論文を審査します。

英語試験 英語の試験は独自の試験を行わず、所定の外部試験のスコア提出により行います。ただし、編入学（社会人特別選抜）志願者で英語試験を免除された者には行いません。免除の詳細は、「**3 事前審査等**」を参照してください。スコア提出の詳細は、「別紙1「英語」試験について」を参照してください。

6-2. 進学

進学者の選抜は、論文審査、口述試験、研究計画書及び成績証明書等を総合して判定します。ただし、英語試験を行うことがあります。

| 入試区分 | 論文審査 | 英語試験 | 口述試験 | 備考 |
|------|------|----------------------------------|------|----|
| 進学 | ○ | ○ (下記英語試験の 記述に該当する者 のみ) | ○ | |

*試験について

論文審査 経済経営リサーチコースに在学中の者においては修士論文、高度グローバル人材コースに在学中の者においてはプロジェクト報告書を審査します。プロジェクト報告書の審査に際しては、プロジェクト報告の成績を考慮します。会計専門職専攻に在学中の者においてはリサーチ・ペーパーを審査します。
他研究科の在学者については、修士論文又はこれに相当する論文を審査します。

英語試験 以下のいずれかに該当する者には英語試験を行います。
 ①経済経営リサーチコースに社会人特別選抜によって入学した者
 ②2019年4月以降に東北大学経済学部生を対象とする試験以外の入試区分で会計専門職専攻に入学した者
 ③他研究科からの志願者でその研究科に入学する際に英語の試験が課されていない者
 ただし、該当者であっても、英語試験を免除された者には行いません。免除の詳細は、「**3 事前審査等**」を参照してください。

英語の試験は独自の試験を行わず、所定の外部試験のスコア提出により行います。

詳しくは、「別紙1「英語」試験について」を参照してください。

口述試験 経済経営リサーチコース在学者については、前期2年の課程と異なる専門科目を志望する場合に行い、前期2年の課程と同じ専門科目を志望する場合は前期2年の課程の修了判定に際して行われた口述試験をもってこれに代えます。

会計専門職専攻在学者についても、リサーチ・ペーパーの指導を受けたプロジェクト研究担当教員の専門科目と同じ専門科目を志望する場合はリサーチ・ペーパーの審査に際して行われた口述試験をもってこれに代え、志望する専門科目がリサーチ・ペーパーの指導を受けたプロジェクト研究担当教員の専門科目と異なる場合に行います。

高度グローバル人材コース在学者については、全ての志願者に対して口述試験を行います。プロジェクト最終報告をもって口述試験に代えることはありません。

他研究科在学者については、全ての志願者に対して口述試験を行います。

7 学力試験日程等

(1) 学力試験日程

| 試験期日 | 試験時間 | 試験科目 | 備考 |
|------------------|-------|------|----|
| 2026年 9月2日(水) | 9:00～ | 口述試験 | |

注1 口述試験の実施時間については、後日通知します。

(2) 試験場

東北大学川内南キャンパス 経済学研究科

注2 受験者は、受験票を必ず持参のうえ、試験開始15分前までに、指定された試験場に来てください。
受験票は、口述試験の前に受付(大学院教務係窓口)に提示してください。

注3 試験を1科目でも受験しない場合は、失格となります。

8 合格者の発表及び入学・進学手続について

(1) 合格発表

2026年 9月10日(木) 17時予定

合格者の受験番号を上記日時に、東北大学経済学部・経済学研究科ウェブサイト上で発表するとともに、合格者に対して「合格通知書」をTAOにて交付します。不合格者には通知しません。なお、電話やメール等による入学試験結果の問い合わせには応じられません。

経済学部・経済学研究科トップページ <https://www.econ.tohoku.ac.jp/>

(2) 入学・進学手続

合格通知書を受け取った者は、その際送付する入学・進学手続に関する指示に従い、**2026年9月11日(金)～17日(木)**において、必要な手続きを行ってください。

ただし、持参する場合の受付時間は、平日の8時30分～16時で、土日祝日は受け付けません。

所定の期間内に手続を行わない場合は、入学・進学しないものとして取り扱うので注意してください。入学手続は、オンラインではなく、郵送又は持参で行います。

9 出願時の留意事項

指導教員は、「別紙2 専門科目及び担当教員」に基づき選択した専門科目の担当教員になります。

予定指導教員の研究テーマ・授業内容についてよく確認し、出願前に教員と連絡を取り、入学・進学後指導教員となることの内諾を得た上で、出願してください。内諾を得ていないと、出願は無効です。なお、教員と連絡を取る際には、入試の実施上の具体的な事柄（試験での試問内容や合否判定法に関すること等）については対応できません。教員の連絡先については、経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。

問合せ先 東北大学大学院経済学研究科大学院教務係

電話 022 (795) 6263

e-mail eco-in@grp.tohoku.ac.jp

なお、入学・進学後一定の期間を経たのち、本研究科教授会が認めた場合、指導教員を変更することができます。

10 1年次又は2年次での修了について

本課程においては、優れた研究業績を上げたと認められた場合、1年次又は2年次において博士論文を提出し、課程を修了して博士の学位を取得することが可能です。ただし、修士課程相当の課程の在学期間を含めて3年以上在学しなければならないので、1年次で修了できるのは、修士課程相当の課程に2年以上在籍して修了した場合、2年次で修了するには、同課程に1年以上在籍して修了した場合になります。

11 在学期間について

標準修業年限は3年ですが、特別の事情がある場合は、入学・進学手続時に標準修業年限の2倍までの年数で修了する長期履修制度の適用を研究科長に申請することができます。長期履修制度の適用を認められた場合、授業料は、標準修業年限で修了する場合の合計額を長期履修の年数に均等分割して支払うことになります。

12 入学料及び授業料

(1) 入学料：282,000円(予定額)

(2) 授業料(後期分)：267,900円(参考 年間授業料：535,800円)(いずれも予定額)

注1 授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料等が適用となります。

注2 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学・進学手続に関する書類でお知らせします。なお、進学の場合は、入学料はかかりません。

注3 納付された入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

1.3 受験及び修学上の配慮を必要とする入学・進学志願者との事前相談

障害等があり、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書(様式は定めない)を提出してください。

なお、本研究科の入学・進学試験においては、合格判定の際に不利に扱うことはありません。

配慮の一例：聴覚に関する配慮として、口述試験時の注意事項等の文書による伝達 等

- (1) 相談の時期 原則として2026年5月26日(火)まで。
- (2) 申請書に記載する内容
 - ① 志願者の氏名、住所(連絡先電話番号も記載)
 - ② 出身大学等
 - ③ 受験上の配慮を希望する事項
 - ④ 修学上の配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる事項(現に治療中の者は、医師の診断書を添付)

注1 希望する配慮内容によっては、本研究科が対応を決定するまでに時間を要することがあります。

注2 やむを得ない理由により期日を過ぎて申請を行う場合は、希望する配慮への対応が間に合わないことがあります。

注3 事前相談を申請された場合でも、本研究科への出願が必須となるわけではありません。出願するかどうか未定の場合でも申請できます。

1.4 備考

出願書類の作成、及び予定指導教員の受入内諾を得るための連絡は必ず志願者本人が行うこと。これらの書類及び連絡の過程において虚偽の記載や申告をしたことや、書類作成を志願者本人が行わなかったことが判明した場合、入学・進学許可を取り消されることがあります。

1.5 個人情報の取り扱い

- (1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学・進学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学・進学者の選抜、入学・進学手続、入学・進学前教育、追跡調査等、入学・進学後の学生支援関係(奨学・授業料免除及び健康管理等)、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究(入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。)に利用します。
- (3) 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者(以下「受託業者」という)が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき、適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

1.6 教育・学習データ利活用について

本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ(以下、「教育・学習データ」という。)を最新のデータ解析やAI技術を用いて分析し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL：<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

2026年 4月

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院経済学研究科

電話 022(795)6263

(別紙1) 「英語」試験について

英語の試験は独自の試験を行わず、所定の外部試験のスコア提出により行います。

事前に下記いずれかの試験を受け、有効期間内に受験した試験のスコアシートを出願時に他の出願書類と一緒に提出してください。

- ・ **TOEIC** テスト (TOEIC IP テストは不可。日本で受験したもののみ有効です。日本以外で受験したものは認められません) スコアシートとして認められるのは、デジタル公式認定証 (PDF データ) を提出した場合に限られます。紙媒体のスコアシートを PDF データに変換したものは受理できませんので、ご注意ください。
 - ・ **TOEFL iBT** テスト (TOEFL iBT Home Edition 及び Paper Edition は可。TOEFL ITP テストは不可) 公式スコア (下の表の「提出方法」を参照してください) と Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) の両方の提出が必要です。
 - ・ **IELTS** (Academic Module は可。General Training Module は不可) スコアシートとして認められるのは、Test Report Form (公式の成績証明書) の原本を提出した場合に限られます。
- ※ その他の試験は使用することができません。
- ※ TOEFL iBT テストにおいては、Test Date スコアのみを利用します (MyBest スコアは利用しません)。
- ※ IELTS においては、One Skill Retake は利用しません。

提出されたスコアは相互に換算し、英語の得点を算出します。複数のスコアが提出された場合には、換算の結果、得点の最も高いものを採用します。

なお、過去に提出されたスコアシートは利用できませんので、改めて提出してください。

また、各試験は、実施日及び実施会場が限られていますので、試験の結果が送付されるまでの日数を考慮のうえ、各試験の開催日時等を早めに確認し、受験してください。

| 有効なスコア | 提出期限 | 提出方法 |
|--------------------|----------------|--|
| 2024年5月1日以降に受験したもの | 2026年7月17日 (金) | <p>TOEIC® テスト デジタル公式認定証 (PDF データ) を TAO にアップロードしてください。</p> <p>各種 TOEFL® テスト 次の①と②の両方により提出してください。 ①ETS アカウント (My TOEFL Home) で公式スコアが ETS から本研究科へ送付されるよう各自手配してください。 ※ 送付のための DI コード (Institution Code Number) は 0232 (Tohoku University Graduate School of Economics and Management) です。 ②Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票。①と同じ受験日のもの) を PDF データに変換し TAO にアップロードしてください。</p> <p>IELTS Test Report Form (公式の成績証明書。コピー不可) を PDF データに変換し TAO にアップロードしてください。</p> |

TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC は ETS の登録商標です。

(別紙2) 2026年度 東北大学大学院経済学研究科
博士課程後期3年の課程 専門科目及び担当教員

| 専門科目 | 担当教員 |
|-----------|----------------------|
| ミクロ経済学 | 准教授 舩田 武仁 |
| 理論経済学Ⅱ | 教授 北川 章臣 |
| 経済学史 | 教授 古谷 豊 |
| 日本経済史 | 准教授 酒井 一輔 |
| 西欧経済史 | 教授 川名 洋 |
| 社会思想史 | 教授 小田中 直樹 |
| 経済計画論 | 教授 大瀬戸 真次 |
| 応用マクロ経済学 | 准教授 鈴木 通雄 |
| 経営学原理 | 准教授 高浦 康有 |
| 財務会計論 | 准教授 吉永 裕登 |
| 管理会計論 | 准教授 松田 康弘 |
| イノベーション論 | 准教授 秋池 篤 |
| 金融論 | 准教授 浅野 康司 |
| 金融政策論 | 准教授 久保田 荘 |
| 環境経済学 | * 教授 日引 聡 |
| 産業組織論 | 教授 泉田 成美 |
| 労働経済学 | 准教授 BAI YU |
| 経済政策 | 教授 黒瀬 一弘 |
| 経済統計学 | 教授 松田 安昌 |
| 計量経済学 | 准教授 黒田 雄太 |
| ビジネスデータ科学 | 准教授 KO IAT-MENG |
| 経営統計学 | 教授 石垣 司 |
| 意思決定論 | 教授 鈴木 賢一 |
| 応用データ科学 | 准教授 李 銀星 |
| 経済データ科学 | 准教授 石原 卓弥 |
| 会計情報論 | 教授 木村 史彦 |
| 監査論 | 准教授 亀岡 恵理子 |
| 証券投資論 | 教授 室井 芳史 |
| 財務管理論 | 准教授 嘉本 慎介 |
| 経営戦略 | 准教授 NGUYEN CHI NGHIA |
| 非営利組織論 | 教授 西出 優子 |
| 福祉経済 | 教授 若林 緑 |
| 加齢経済 | 教授 吉田 浩 |
| 医療経済 | 教授 湯田 道生 |
| 財政 | 教授 佐々木 伯朗 |
| 開発経済学 | 准教授 LI YANJUN |
| 地域企業論 | 教授 福嶋 路 |
| アジア経済論 | 教授 日置 史郎 |
| 産業発展論 | 教授 川端 望 |
| 国際経済 | 教授 永易 淳 |
| グローバル経営史 | 准教授 菅原 歩 |
| 国際経営 | 教授 藤原 綾乃 |

(2026年4月1日現在)

注1 理論経済学Ⅱは近代経済学の原論である。

注2 *の教員は、2026年度末までに退職等の予定の教員である。